

日英語比較プロジェクト
ファイナルファンタジーXV
Japanese and English Comparisons
in
Final Fantasy XV

アマンダ・フィル
Amanda Phil
82-373 日本語の構造
The Structure of the Japanese Language
Polyglot Submission

私のトピックは「ファイナルファンタジーXV」という日本のテレビゲームの日本語の違いを分析することだ。このトピックを選んだ理由は、このゲームをもう完成して、全部日本語のオーディオを英語の字幕と聞きながらしたけど、この二つの違いは頻繁に多い。なぜこう言うしているのか調べたい。もう一つの理由は、もし私は日本に就職をしたら、例えば通訳として、私はアメリカ人がどうやって日本語を英語に訳ることが気に入るのを知りたい。そして、おそらくゲームの会社で通訳もできるかもしれない。最初は私のゲームを録音したりYoutubeの動画を見つけたりするつもりだ。ネットも使うつもりだ。分からない所は岩崎先生に聞く。

日英語の違いのデータを三つ使う。最初の例は「すぐに見つけ出し、殺せ」だ。英語で「Find and kill her」に通訳している。この例は省略言語が表せている。英語は非省略言語なので、「her」の主語が必要だ。日本語の場合は、「彼女」のことはもう暗黙されているから、必要ではない。次は「六神の力とは人知を超えたもの」。英語で、「The six wield power beyond our imagination」。この文は人間対状況焦点の違いが表せている。英語の場合は状況の人「The six」に焦点を当てている。日本語の場合は状況の全体「ろくしんのちから」に焦点を当たっている。二番目の動画も例が二つあった。まずは、「しらされていなかった」。英語で、「We had no way of knowing」。これは持っている対ある表現が表せている。英語から文字通りに翻訳して、「知る方法を持っていなかった」。でも、日本語は「なかった」を使っている。次は「インソンニアにアガにるふえるはいむのていこくをしゅうげきうけたらしい」。英語で、「The imperial army (Nifelheim) has taken the Crown City (Insomnia)」。この文は英語で視点が固定している。そして、日本語で固定していない。最後の動画も例二つがある。一番目は、「せかいはいまひかりをうしないつつあります」。英語で、「The light fades from our world」。こ

れは面白い。英語の場合は主語が光だけど、日本語の場合は主語は世界だ。最後の例は、「わたしは、ここあるティッシアにねむるあらぶすいしんリバやサンのみちからをおかしいたぐためにまいりました」。英語で、「I stand before you here in Altissia to call upon Leviathan, Goddess of the Seas, spirit of the deep」。英語の場合は主語-動詞-目的語を使って、日本語の場合は主語-目的語-動詞を使っている。日英語の文化的見方の違いもある。物はとてもウエスタンだけど、行動や喋り方はとても日本人らしい。たとえば、三番目の動画はお辞儀や敬語を使っている。そこで英語のロカライゼーションにアクセントも入れている。

結論として、日英語は非常に違う。この作文の中に見たとおり、日本語は省略言語、英語は非省略言語。日本語は状況に集中して、英語は人に集中している。英語は「～を持つ」になっているが、日本語は「～がある」になっている。そして、日本語の文は動詞が文末に表せているが、英語の文はそうしない。

データの出典参考文献字数

<http://www.youtube.com/watch?v=8ibUIYMKtCg&t=8s> 00:00-01:12

<https://www.youtube.com/watch?v=55BeeqeQvHM&t=31s> 33:49-35:28

https://www.youtube.com/watch?v=6qU9RYT_tuo&t=54s 52:30-54:53